

千葉高調理科チーム vs ウル得マン

日本テレビ 情報バラエティー番組《得する人 損する人～出張!ウル得マン～》に出演



6月7日、日本テレビの情報バラエティー番組「得する人損する人」に、調理科の田中陽南子さん（3年・倉石中出身）、木田実優さん（2年・長者中出身）、山本梨央さん（2年・三重県四日市市山手中出身）が出演しました。3人は、「出張!ウル得マン」のコーナーでお笑いコンビ「犬の心」のいけや賢二さんが扮する「ウル得マン」と調理対決を行いました。このコーナーでは、高校生とウル得マンが1つのメイン食材を使って超スピード&時短調理で30分以内に何品作れるかを競います。

メイン食材として選ばれたのは八戸名産の「イカ」です。地元の食材とあって扱いは慣れているものの、撮影当日はテレビカメラや大勢の撮影スタッフに囲まれて、3人はやや緊張の面持ち…。しかし、いざ調理が始まると、様子は一変します。慣れた手つきでイカの下処理を済ませると、繊細な包丁さばきを披露しつつ、洋風のイカめしやイカをごぼうで包んだ変わり揚げなど、次々とアイデア料理を作り上げていきます。互いに声を掛け合い、チームワークを発揮して出来上がった料理は計11品。ウル得マンも同じく11品を作り、勝負は引き分けとなりましたが、3人は銀座に店を構えるプロの料理人もうなるほどの腕前を見せてくれました。

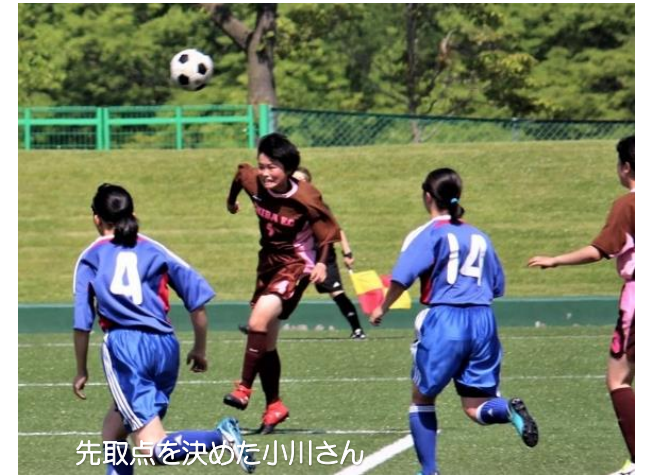
ファッション甲子園 2018 最終審査会出場決定



全国の高校生がみずみずしい感性で作品を生み出し、そのセンスと技術を競い合う「ファッション甲子園」こと「第18回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会」の第1次審査会が弘前市で行われました。全国から応募された3,136点のデザイン画の中から、生活文化科3年の佐々木あこさん（東中出身）と高森玲奈さん（東中出身）による作品が、みごと予選を突破しました。佐々木さんが描いたデザイン画のタイトルは「悠久の時を重ねて—漆塗り—」。ふわりと丸い形が印象的な黒地のスカートの上に、朱色の文様が大胆にあしらわれています。8月の最終審査会では、予選を通過した35点のデザイン画をもとに作り上げられた衣装がファッションショーの形式で披露されます。漆塗り特有の光沢感や文様の立体感がどのように表現されるのか、2人が作り上げる作品に期待がかかります。

第71回青森県高等学校総合体育大会

優勝 サッカー 9年連続 20回目
ベスト8 テニス・ソフトボール
ボウリング 4年連続 6回目



先取点を決めた小川さん

第71回青森県高等学校総合体育大会が6月1日より開催されました。県内各地で熱戦が繰り広げられる中、昨年度の新人戦県予選敗退の雪辱を果たそうと並々ならぬ思いで試合に臨んだのはサッカー部です。大会を前にキャプテンの澤頭和香選手（総合ビジネス科3年・下田中出身）は、「今回は絶対に優勝したい。来年の10連覇につなげたい」と闘志を燃やしていました。順調に勝ち進んで迎えた決勝戦の相手は三本木高校です。昨年度の決勝戦でゴールを許した強敵とあって、前半は膠着状態のまま0対0で終わります。後半は、石岡樹映留選手（生活文化科1年・金木中学校出身）の投入から試合の流れに変化が…。ゴール手前で受けたパスを空いたスペースに押し込み、みごと先制点を決めたのは、小川葉月選手（総合ビジネス科1年・三本木中出身）でした。続けて、會澤彩葉選手（総合ビジネス科1年・白山台中卒）が宙に浮いたボールをしっかりと捉えて、ヘディングシュートで追加点。「勝ちたい」という先輩たちの思いに応えた1年生の活躍により、サッカー部は9年連続20回目の優勝という大記録を打ち立てました。

一方、ボウリング部は4年連続6回目の学校対抗戦優勝を果たしました。ボウリング競技における4連覇は、大会史上初の快挙です。どんな場面でもチーム全員で声を掛け合い、持ち前の明るいチームカラーを前面に押し出したことが勝利の鍵となりました。試合後、キャプテンの福士万琳選手（看護科3年・階上中出身）は、「優勝旗を持ち帰ることができて嬉しい」と、安堵の表情を浮かべていました。また、2人チーム戦ではAチームが優勝、Bチームが第3位に入賞しました。個人戦では惜しくも優勝には届かなかったものの、第2位、第3位、第5位と3名が入賞を果たしました。



キャプテンの福士さん

応援ありがとうございました	
サッカー部	優勝 9年連続 20回目
ボウリング部	学校対抗戦 優勝 4年連続 6回目
2人チーム戦	第3位 大久実結・岡本 渚
個人戦	第2位 福士万琳・安江萌美
	第3位 岡本 渚
	第5位 大久実結
	安江萌美
テニス部	団体戦 ベスト8
	ダブルス ベスト8 古町優香・岩城ひかる
ソフトボール部	ベスト8

また、今回の高総体では、田代七海選手（生活文化科1年・根城中出身）がなぎなた競技に出場しました。田代選手は地域のスポーツクラブでなぎなたに取り組んでおり、なぎなたの選手が高総体に出場するのは本校で初めての事です。田代選手自身も本格的な試合に挑戦するのは初めてで、個人戦の予選リーグで敗れたものの、次の新人戦への意欲を高める良い経験となったようです。

パソコン部 全国大会出場権獲得



6月8日から9日にかけて開催された青森県高校ワープロ競技大会にパソコン部が参加しました。その結果、団体は第2位、個人は滝田遼さん（総合ビジネス科3年・下長中出身）が第5位、鈴木彩永さん（総合ビジネス科3年・川内中出身）が第6位入賞を果たしました。

3月の練成大会でライバル校に敗退してから3か月。新入生が入部して部員数は倍増したものの、今大会も厳しい戦いになることが予想されました。しかし、顧問の森山先生は「気持ちで負けるな」と、部員たちを鼓舞し続けました。大会当日、この3か月間で培ってきた技術とチームワークにより、部員たちは皆、素晴らしい活躍を見せてくれたのです。パソコン部顧問の森山先生は、「普段の練習の成果を発揮できた大会であったが、まだまだ伸びる余地はある。今後の頑張りにも期待したい」と、部員たちの頑張り認め、エールを送りました。

今大会の入賞で7月7日の東北大会と、8月4日の全国大会への出場権を獲得したパソコン部。更にスキルを向上させて、上位大会でも入賞を狙います。